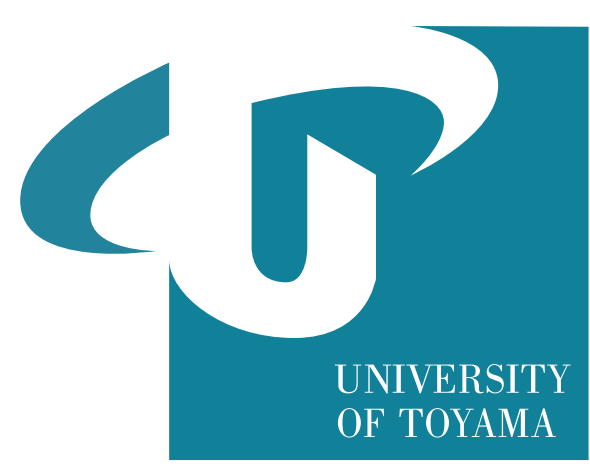


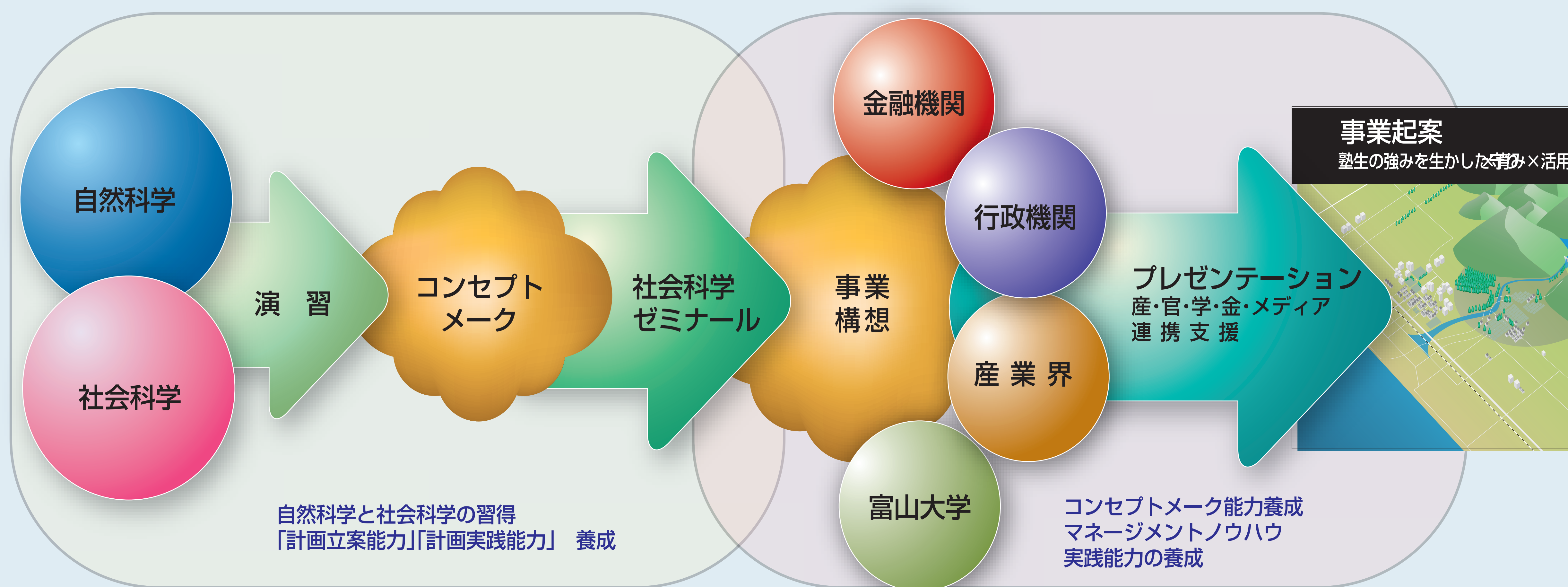


平成21年度年度～22年度で協力頂いた先生方

4000

「高度差4000」 人材養成プログラム

高度差4000に潜む循環系の連鎖を解明し、未来をみつめる自然科学の知(ナレッジ)と、高度差4000を支える生活面、生産面を支える社会科学の知(ナレッジ)の双方を習得し、■事業構想を具体化するためのコンセプトメーク能力 ■事業構想の具現化に必要な計画立案能力 ■事業構想を実践するための地域マネージメント能力の養成を行います。



定期開講講義と演習による高度差4000の理解



個別課題解決に向けた定期開講講義と演習からなる人材育成カリキュラムを提供し、高度差4000守り・育み、活用による地域づくりプロジェクトの計画立案能力や、計画実践能力(プロデュース能力、マネージメント能力)を養うための自然科学と社会科学の知(ナレッジ)を学びます。

事業構想を具体化するコンセプトメーク能力の開発



高度差4000を守り育みながら地域づくりプロジェクトの実践に向けて、自らの企業行動を見直し、着眼・評価すべき高度差4000の要素は何かを見極め、これまでの企業活動にどのような変化を加えることが必要なのかといったコンセプトメークができる能力を養います。



事業構想を実現化する能力開発

ゼミナール形式での産学官金連携型プロジェクト磨き(ハズオン)支援により、新サービス商品の開発、販促・プロモーション方法の検討、フィージビリティ(事業性、資金計画)の検討など、事業をプロデュースし、かつマネージメントするための能力開発を養います。

企業の技術力や個性を生かした環境と経済の両立を図る地域プロジェクトの提案

例えば、ものづくり企業によるアクション

富山の「ものづくり」企業は、豊かな水を活用しながら企業活動を展開し、環境技術の開発を率先して進め、企業の倫理観として厳しい規制条件をつけながら、グローバル展開を実践する企業の存在を再認識した。

そこで、消費者の環境志向に順応する新たな需要創造を目指し、自社の技術力や個性を生かした環境技術を開発し、産学官金メディア連携による、高度差4000を守り育みつつ、低炭素・循環型地域づくりに挑戦した。

例えば、行政によるアクション

高度差4000が育む循環系連鎖の礎である「水循環」が、市民の暮らしや産業を支えるインフラ基盤の役割を担い、環境と経済の両立による地域繁栄を形成してきたことを再認識した。

この地域繁栄基盤を保持するために、総合計画と連動し、高度差4000を守り・育み、活用による地域プロジェクトの持続的な創出を目指す、産学官金メディア連携による人材育成を含む地域マネージメント型産業政策の展開に挑戦した。

IT業者によるアクション

鉄道事業者によるアクション

建築設計業者によるアクション

市民・NPOによるアクション

塾生の強みを生かした守り×育み×活用

